



長崎外国語大学・短期大学

チャペル通信

編集・発行
学校法人長崎学院
宗 教 部

〒851-2196
長崎市横尾3-15-1
TEL 095(840)2000
FAX 095(840)2001

VIA VERITAS VITA 「わたしは道であり、真理であり、命である」(ヨハネによる福音書14章6節)

チャペルアワー奨励から

ぶどう園の労働者

長崎古町教会牧師 福井博文

主人はその一人に答えた。『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと一デナリオンの約束をしたではないか。自分の分を受け取って帰きなさい。わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。』

マタイによる福音書二〇章一三、四節

主イエスはエルサレムにお上りになる前に、弟子たちと神の国がどのようなところであるかをたえでお話しになりました。ある家の主人がぶどう園を経営していました。夜明けの朝六時頃でしょうか、労働者を雇うために町の広場に出かけて行きました。広場には仕事を求めて沢山の人が集まっていました。そこで主人は何人かの者と一デナリオン(当時の労働者の一日

の平均的な賃金)で雇用契約を結び、ぶどう園に送りました。

朝九時になり主人が広場に來ますとまだ沢山の人がいました。そこで同じように一デナリオンで何人かを雇い園に送りました。一二時頃主人が広場に行きますと、まだ何人もの人たちが立っていました。主人はまた同じように契約を結んで働きに行かせました。午後三時頃もう誰もいない

だろうと思って広場に見に行きますとまた何人かが立っていました。そこで主人は同じ条件で数人を雇い園に送りました。すでに陽が傾き始めた五時頃でした。まさかと思って主人が広場に行きますとなんとそこにまだ数人の者が立っていました。立っている者たちは、不安と空腹で疲れ切っていました。主人は尋ねました。「なぜ、何もしないで一日中ここに立っているのか。」彼らは言いました。「だれも雇ってくれないのです。」そこで主人は言いました。「あなたもぶどう園に行きなさい。」

夕刻六時頃でしょうか、陽が沈みましましたので、主人は労働者全員を集め、最後に來た者から始めて順番に

一デナリオンずつ賃金を払いました。これを見て最初に雇われた者たちが不平を述べました。「わたしたちは一日中働いたのにこの連中と同じ扱いですか。」そこで主人は言いました。「自分の分を受け取って帰きなさい。わたしは最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。わたしの気前のよさをねたむのか。」

さて、わたしたちはこのたとえを聞いてどのような感想をもつでしょう。ぶどう園の主人は労働者の気持ち



ちが分かっている。一、二時間も働いた者とわずかに一時間しか働かなかった者の賃金を同じにするのは常識だと思ふにちがひありません。気まぐれで賃金を決められてはたまらない、こんな主人のもとで働くのはまっぴらだと思ふのではないでしようか。しかし、冷静に考えてみますと、どの時刻に雇用された者も一デナリオンの賃金で雇われたのですから、契約上文句を言うことはできないのです。しかし、それにしても最後に来た者から始めて同じ賃金を払うのはどうも納得いかないという人が多いのではないかと思います。

主イエスはこのたとえで述べたようなことが神の国では起こると仰せになりました。神の国とはいったいどのようなところでしょう。このたとえは当時、弟子たちに語られたものですが、時を越えて、現代のわたしたちにも大切なことを語りかけています。目に見えないものを見る力を養い、いということ。そして、現実が見えたら、神のお喜ばれることをあなたも行いなさいということです。

わたしはこのたとえを讀んだとき次のようなことを想像しました。町の広場で朝六時頃に雇われて人たちは、一五歳から四〇歳までの健康で力の強い男性たちでした。何故なら、どの園での仕事の能率を考えるとそれが一番理にかなっていたからです。次に朝九時に雇われたのは四〇歳から六〇歳の健康な男たち、一二時に雇ったのは、一五歳から四〇歳の健康な女性たち、午後三時に雇ったのは、四〇歳から六〇歳の健康な女性たち、そして夕方の五時に広場に立っていたのは、恐らくお年寄り、障碍者、一四歳以下の少年少女であったのではないでしようか。

この人たちが朝の六時から焼け付く日差しに耐え、一時間ものあいだ広場に立っていたのはひまつぶしのためではありませんでした。ましてや、行楽気分でもどう狩りをするためでもありませんでした。そうではなく、家ではお腹を空かした子どもや孫が待っていました。病気で寝たきりの父や母が待っていました。人々は、子どもや年寄りや障碍者を働きに出させてことを悔いながら、それでも一切のパンとスープを待っていたのです。

どう園の主人は、午後五時まで待ち続けた人々の真剣な表情を見て、それぞれが抱える事情を見抜きました。そこで、何とかこの者たちにも賃金を払い、待っているそれぞれの家族に温かい夕食を届けてあげたかったのです。ここまで考えて、わたしはこの主人とった行動と態度に抗議できないと思ひました。納得がいきました。かえってこのような

ご主人のもとで働かせてもらいたいとすら思ひました。主イエスは、神さまはこの主人のようなお方であると言われました。そして、この主人のもとで働く者になりなさいと勧められます。信仰を持つと言うことは、わたしたちがこのような神さまに造られ、生かされ、守られていることを知り、感謝と喜びと誇りを持って生きることです。そして、自分が健康で働かせていたただけでも有り難いことだと気づき、人の幸せをねたんだり、人の幸せを奪い取ろうとする愚かで罪深い自分を悔い改めながら生きることです。神の国はここにある、あそこにあるというようなものではありません。わたしたとあなた、あなたとわたしのあいだの関係に生じてくるものです。一度きりの人生です。お互いに支え合いつつ、神の国の喜びに生きる者となりましょう。



今飛躍のとき。

自分史 My History

自分の歩いてきた人生を、
一冊の本にしてみませんか。

ご予算に応じて作成致します。
お気軽にお問い合わせください。

●販促用印刷物に関する企画・制作 ●印刷 ●オンデマンドプリント ●マルチメディア企画

夢・飛躍
川口印刷株式会社

〒851-0134 長崎県長崎市田中町421-1
TEL. 095-838-2181 FAX. 095-839-5533
ホームページアドレス <http://www.kawaguchi-print.co.jp/>

キリスト教書店ハレルヤ

〒862-0971 熊本市大江4-20-23

TEL 096-372-3503 (FAX共用)

E-mail: k-haleruya@earth.ocn.ne.jp

聖書とわたし

教職員の方々に①思い出の、あるいは好きな聖句を一節選んでいただき、②その思い出、またはそれが好きな理由をお尋ねしました。

たとひ我ももろの國人
の言および御使の言を語る
とも、愛なくば鳴る鐘や響
く鏡鈸の如し。
(コリント前一二・一)



池田 絃一

パウロの書簡は、聖書を愛読書と呼んでよければ、愛読書中の愛読書である。中でもこの一節は学生時代から座右の銘としてきた。私はドイツ語・ドイツ文学が専門であるが、私の根本的関心は「言葉、この不思議なるもの」にある。言葉は単なる道具でもなければ手段でもない。一言で人を落胆と失望に陥れることもできる。一言で人を励まし、鼓舞することもできる。どんなに言葉巧みでも、外国語が得意でも、崇高な思想を語っても、愛に裏打ちさ

れていなければ何の意味があろう。実にその通りだ。心にしみる。

口語訳(新共同訳)を見ると「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル」となっている(コリントの信徒への手紙一)。異言とは霊的な言葉を意味するそうだが、この口語訳は全体として意味が分かりにくく、訴えかけない。文語訳が簡潔で、力強く、しかも心にしみる。

(学長・大学教授)

だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわったころに劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取って置

かれました。

(ヨハネ二・一〇)



木原 直美

ある友人の結婚式で聞いた一節です。その時の牧師さんの言葉を正確には思い出せませんが、メッセージはとても印象的でした。

「だれの結婚も、最初は互いに思いやりを持ち、美しく輝いているが、年月とともに最初の感動も忘れ、互いへの気持ちを忘れてしまふことが多い」「だが、結婚も良いところを最初に使い切るのではなく、最後までとっておくもの」「良いぶどう酒のように、長い時間を経えますます熟成するもの」といった内容でした。

私は、もともと、時間に「助けてもらおう」料理が好きです。トマトはゆっくり煮込めば美味しいトマトソースに変身しますし、ドライフルーツを一年程洋酒に漬け込んでおけば、それを使って上等なパウンドケーキを作ることができます。まさに、時間がレシピです。時

間と手間をかけることで何の変哲もないと思っていたものが輝きを増したり、深みを帯びたりすることもあるのではないのでしょうか。結婚や友人関係もそうであるならば、年を重ねるのも素敵なことだと思います。

(短期大学講師)

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。勢いを与えてあなたを助けわたしの救いの右の手であなたを支える。

(イザヤ四一・一〇)



梁 正善
(ヤン・ジョンソン)

シャローム!

旧約聖書のイザヤ四一章一〇節は私がよく黙想する好きな聖句の一節です。ふっと思えますと神様はいつもそばにおられ私の足元を見守って導いて下さいました。困難なことが重なってどうしても前に進むことが出来なかった時、疲れ果てて悩んでい

た時、私はイザヤ書四一章一〇節を読んでいた。「わたしはあなたと共にいる神……あなたを助けわたしの救いの右の手であなたを支える」この弱い私を神の救いの右の手で私を支えて下さる。どんなに素晴らしきことか! 神様が右の手で私を支えて下さる。同じく皆さんも支えて下さる。

また、口語訳では「恐れはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わが勝利の右の手をもって、あなたをささえる。」

「わたしはあなたを強くし、あなたを助け……あなたをささえる」という聖句は今日も前に進む力をお与え、生きる意味を悟らせて下さいます。恵み深い神様の慰めと愛は今日も明日も永久に変わりありません。今日も神様はあなたと共におられ勢いを与えあなたを助け救いの右の手であなたを支えて下さいます。アーメン。

(短期大学非常勤講師)

本の紹介

中村 哲

『ペシャワールにて』

(石風社、一九九二年)



外国語学部 一年

入 来 綾 香

「ペシャワールにて」では、現在発展途上国が直面

している様々な問題について知ることができると言っても過言ではありません。らい(ハンセン病)などの治療のために、日本からパキスタンの北西辺境州の州都ペシャワールへと赴任をした医師の目線で書かれているので、内容としては医療問題が主ではありますが、その様々な問題や事件とも言えるであろう出来事には宗教な関わりを持つものが

多々目につきます。

現在のペシャワールを含む発展途上諸国の医療問題は、大変深刻なものを抱えています。日本では当たり前のように享受している治療も、ペシャワールなどでは、絶対的な医師や看護・医療スタッフの不足と衛生的な環境の整備が万全になされていないといった幾多の問題が重なり、治療は非常に困難を極めます。病院の数自体も少ないために、その数よりも地元患者の

数が上回っており、また実際に患者たちが治療を受けられるほどのお金を持っていないこともあり、重度の患者ですら入院はおろか通院すらままならないのが現状です。

さらに問題はそれだけに止まりません。先に書いたように、宗教的な問題が医療スタッフと患者たちとの間でしばしば起こるので、そもそも宗教とは、神仏を信仰・尊崇することによって、心のやすらぎを得るものです。日本では、自分は無宗教であると発言する人が、とくに若い世代の者たちの間で確実に増えているでしょう。時代の流れなのか、それが現在の日本の風潮であるとはいえ、世界ではごくまれなことでは。当然のことながら、現地へ派遣された医療スタッフたちも患者たちも、各々に宗教を持っています。にもかかわらず、自分の宗教を無理に押し付けるかのごとく

全面的に主張することは相手の不快、ともすれば反感さえも買ってしまうことでしょう。

さらにこの本を読んでいる、世界的な活動支援団体でさえ、本当に発展途上諸国の地元住民のための働きを行っているのだろうかという疑問に思う場面もありました。現状を把握しないまま素晴らしいとされるプランをいくら立てたとしても、それは所詮机上の空論に過ぎません。本当にやらねばならないことは、彼らのちよっ

とした言葉にも耳を傾け、彼らは何を望んでいるのかと思ひやりの気持ちを持って接することでしょう。また、支援を「してあげている」ではなく、「させてもらっている」という献身的な姿勢でなければいけないと思います。そ



山岳部で診療する中村医師
(ペシャワール会ホームページより)

うでなければ、医療だなんだと言ったところでまったくの無意味に終わってしまいます。医療行為は互いの信頼関係のうえに成り立つものであり、ただでさえ先進国の行動や思惑に大きく左右されてしまう発展途上国だからこそ、なおさらそれは重要になってきます。彼ら発展途上諸国の住人が本当に必要なとしているのは、支援金でも夢のようなプランでもなく、共生の精神を持つ人員ではないかと思いました。

映画紹介

『文明』と『未開』・どっちの生活ショー

『刑事ジョンブック 目撃者』(The Witness)

ピーター・ウィアー監督、一九八五年米



山川 欣也

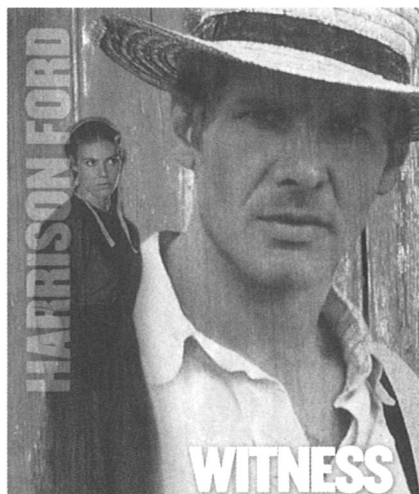
アメリカ北東部大西洋岸にあるペンシルヴェニア州第一の都市フィラデルフィアから西へ一時間あまり行くと、忽然と時間が止まっているんじゃないかと錯覚するような風景が現れます。大都会からわずかしが離れていないにもかかわらず、どうしてこんな場所が存在しているのかとても不思議だと感じるかもしれない。こうした時空を形成しているのが一般的にはアーミッシュと呼ばれる、十八世紀頃からアメリカに渡って来たドイツ系移民の末裔で、キリスト教メノナイトから分派したアマン派の人々で

す。実は、学部卒業論文でテーマにしたのがペンシルヴェニア州を創設したウィリアム・ペンだったこともあって、初めてこの地を訪ねたときには、おそらく彼らがこの地にやって来た三百年近く前からこの空間はほとんど変わらないだろうという感慨におそわれて泣きそうになった覚えがあります。植民地時代のペンシルヴェニア植民地が目の前にあるような気がしたのでしよう。過去を見ることができない歴史家がたまに陥る職業病です。

現代的な文明の利器を使用することを拒んで、渡来して来た頃の生活様式と信仰生活を守り続けています。現在全く使用しないわけではないですが、電気を使わず電話も利用しない彼らの空間には、当然のことながら見渡す限り電信柱など一切存在しない。その風景は圧巻としか言いようがない。第三者から見れば、まさに世界遺産なんでしょうけど……さて、このランカスター地方に暮らすアーミッシュたちを映画に引用した作品が今回紹介する『刑事ジョンブック 目撃者』です。

ストーリーは邦題から察せられるとおり、目撃者をめぐるサスペンスです。捕まるか捕まらないか、見つかるか見つからないかの話です。その「かくれんぼ」の舞台がアーミッシュたちの暮らす村になっているだけなのですが、圧倒的に現代に生きる我々の方が無様な醜態を曝け出す、その様を見せつけられ、ちよつと劣等感さえおぼえてしまうかもしれません。

彼らは淡々とむしろ退屈とも言えるルーティンな毎日をすごしています。一方、我々は日々何かに追われるようにすごしている、というかどちらかと言えば刺激的な生活を送ることを背負わされています。もちろん、対立的な図式が鼻につくと思う人もいるでしょうし、どちらがどうということではないです。ただ、新婚夫婦のために村中総出で新築家屋を建てるシークエンスは、彼らの最大イベントに違いないのですが、これに嫉妬さえ感じてしまうのは一体なぜなのでしょう。監督は豪州出身のピーター・ウィアーです。豪州時代に、『Picnic at Hanging Rock』、『誓い』といった名作を残したのちに、この作品から本格的にハリウッドで監督し始め、『モスキート・コースト』、『今を生きる』、『トルーマン・ショー』などの作品



を撮っています。しかし、彼自身もそうであったように、選択の際にあって、我々は何を基準にどう行動し、何を考えどう行動するのか、そして何を選択するのかしないのか、あるいはすべきなのかといった主題は不変と思われまふ。

豪州時代からの撮影班スタッフ、ジョン・シールが切り取るアーミッシュの村の鮮烈な緑をできればスクリーンで、モリス・ジャールのたゆたうようなサウンドをドルビーで堪能してほしいのですが。

(短期大学教授・アメリカ地域研究)

2006年度 チャペルアワー等の記録

(春学期)

チャペルアワーは毎週水曜日午後12:40～1:00実施

回	月 日	奨 励 題	聖 書	奨 励 者
宗教オリテ	4月5日	求 め な さ い	マタイ7.7,8	小西 哲郎宗教主任 (長崎学院)
1	4月11日	リベラル・アーツのころ	ローマ5.15-17	福井 博文牧師 (長崎古町教会)
2	4月18日	二つのものを一つに	エフェソ1.14-18	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
3	4月25日	イエスはアホや	マルコ11.15-19	原 和人牧師 (長崎銀屋町教会)
4	5月2日	ライラックの花の咲くころを想う	Ⅱコリント12.9,10	石川 昭仁教授 (外国語学部)
5	5月9日	自然の命と復活の命	Iコリント15.42-44	信太 聖吾牧師 (長崎滑石教会)
6	5月23日	新たに生きる希望	ヨハネ11.30-44	村井 仁牧師 (長崎鮑の浦教会)
7	5月30日	求 め な さ い	マタイ7.7	戸口 民也教授 (外国語学部)
8	6月6日	閉ざされた道と開かれた道	使徒16.6-10	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
9	6月13日	もう一人のトマス	ヨハネ20.24-29	森島 豊牧師 (長崎平和記念教会)
10	6月20日	憩 い の 日	詩編23.1-6	吉川 八郎牧師 (長崎教会)
11	6月27日	微笑みの意味	ルカ6.21	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
12	7月4日	なんとすばらしい	マルコ12.41-13.2	沖田 康孝牧師 (長崎馬町教会)
13	7月11日	道	ヨハネ14.6	古賀 貞夫監事 (長崎学院)
14	7月18日	劣 等 感	ルカ19.1-10	小西 哲郎宗教主任 (長崎学院)

(秋学期)

回	月 日	奨 励 題	聖 書	奨 励 者
1	10月3日	信じてみることに	マルコ8.11-13	原 和人牧師 (長崎銀屋町教会)
2	10月10日	ぶどう園の労働者	マタイ20.1-16	福井 博文牧師 (長崎古町教会)
3	10月17日	失われた銀貨	ルカ15.8-10	森島 豊牧師 (長崎平和記念教会)
4	10月24日	生きる力のみなもと	ヨハネ4.14	山口 慶子教授 (学生部長)
5	10月31日	人生の主人公	ルカ10.21-24	信太 聖吾牧師 (長崎滑石教会)
6	11月7日	人の知識をはるかに超える愛	エフェソ3.16-19	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
7	11月14日	大いなる可能性	マルコ4.30-32	坂上 剛監事 (長崎学院)
8	11月21日	クリスマスの準備、してますか。	マタイ2.13-15	沖田 康孝牧師 (長崎馬町教会)
9	11月28日	マリアの信仰	ルカ1.26-38	三浦 功牧師 (ナザレン 長崎教会)
10	12月5日	クリスマスのころ	ルカ2.8-21	村井 仁牧師 (長崎鮑の浦教会)
11	12月12日	大人に成長する条件	ヨハネ5.1-9	吉川 八郎牧師 (長崎教会)
クリスマス	12月20日	大いなる喜び	ルカ2.8-20	森島 豊牧師 (長崎平和記念教会)
12	1月9日	心の安らぎ	詩編46.2	土井 信義理事 (長崎学院)
13	1月16日	壁を越える勇気	マタイ28.20	小西 哲郎宗教主任 (長崎学院)
14	1月24日	神は共におられる	マタイ1.18-25	村井 仁牧師 (長崎鮑の浦教会)

編集後記

『チャペル通信』第一七号をお届けします。ご寄稿いただいた皆さまに感謝申し上げます。さてこの場をお借りして、「祈り会」へのご案内をします。これは山本敏明理事長(当時)の発案で、二〇〇五年から続けている有志の小さな会で、授業期間を中心に毎週月曜日朝八時三〇分から一五分開くらしいの時間に、「詩編」の輪読、自由祈禱、最後に「主の祈り」という順序で行っています。スタートしてすぐに土井信義事務局長が加わり、理事長は松本汎人氏、藤末文夫氏(体調を崩され、最近欠席されています)と交代しながら、やがて梁正善先生も参加されるようになって、四人のメンバーで現在に至っています。この「祈りの輪」への皆さまのご参加を切に祈り、またお待ちしております。

(小西 哲郎)